

学校保健

編集発行
 日本学校保健会
 岩原 拓
 東京都港区西久保 3785
 明舟町10番地
 電話(50) 9974
 振替口座東京 98761
 印刷所 伊東進歩堂
 東京都文京区東青柳町30

日本学校保健会報
 昭和31年6月1日発行(隔月1回1日発行)

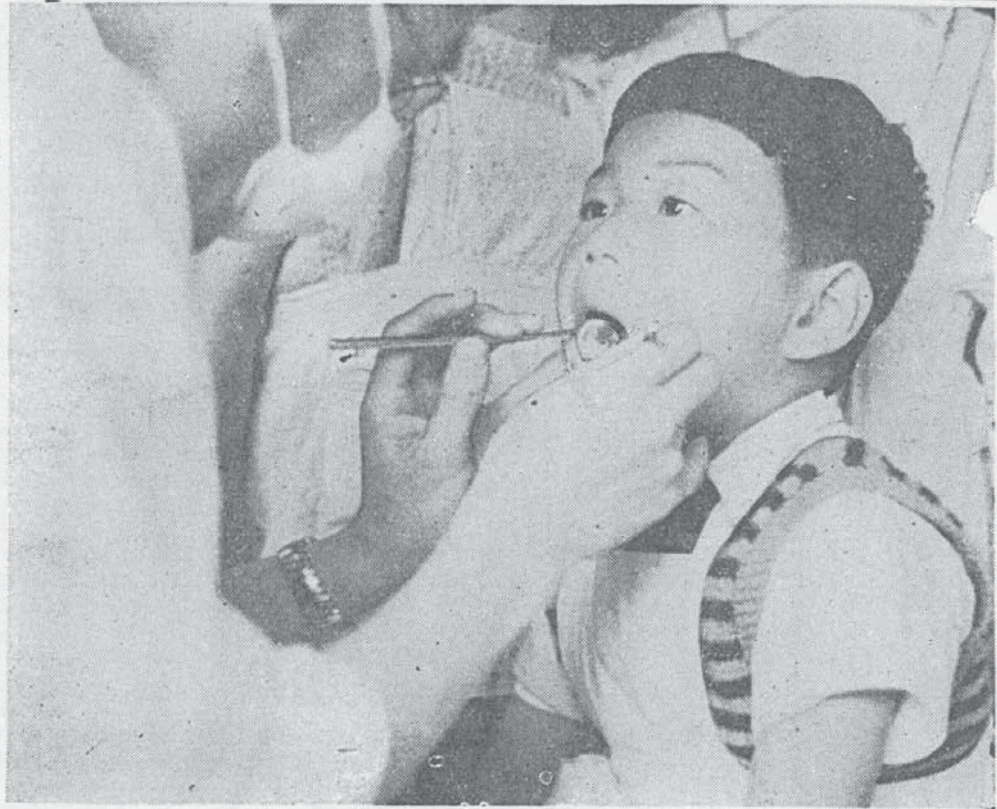
頒価1部15円(送料とも)

教育の目的は、人格の完成及び社会の平和を成すことにある。個人としての責任を重んじ、勤労と自主的精神を養ふことにより、健康な国民の育成を期すことである。(教育基本法)

三十一年度学校保健の展望

昭和三十一年一月、文部省主催高等学校学習指導要領の伝達ための講習会が行われ、さらに三月には中学校保健体育科のうち保健の学習指導にこれらの局長通達が各教育委員会へ達された。これらにより健康教育のための新しい強力な実施が三十一年度からいよいよスタートすることになった。

また定期学校身体検査を手にはじめに、むし歯半減運動、鉤虫、トラホーム等の強力な予防対策も打出され、さらに昨年来世論を強めてきた災害防止、安全教育等についても実態調査、安全教育の参考書の編集等により新たな発足が行われようとしている。わが日本学校保健会において、も各位の御後援により、これらの諸事業に一層の協力を押し進めたい。



急増する学童のむし歯

戦前の最高率を上廻る

児童生徒の発育は、戦後十年にして、戦前の最高に到達し、ないしは上廻るほど急速に恢復したことは何としても明るいニュースである。

しかしこれに反して、児童生徒のむし歯や近視が近時増加し、特に小学校児童のむし歯の増加は著しい。小学校児童では、昭和二十六年は四一パーセントであったものが、昭和二十九年には男五八・八パーセント、女六〇・八パーセントと増加し、おそらく昭和三十一年度の今日では、戦前最高を示した昭和十一年度の男六八・五パーセント、女七〇・二パーセントを間違ひなく突破するものとみられている。

そして小学校児童でむし歯がある者の実に九〇パーセント以上の者が未処置のまま放置されているのである。これでは、新しい学習指導要領も、新しい健康教育論も、教師の口頭のみで、学童の口中にまで及ばぬといわねばなるまい。

昨年十一月東京で開かれた第十九回全国学校歯科医大会では、学童むし歯半減運動が宣言されたが、本会も日本学校歯科医会と共にこの運動を主唱することとなった。

むし歯にかぎらず身体検査の結果処置を必要とする者は、処置をうけるよう家庭に知らせることは学校の責任である。

このやり方を皆がその気になつて熱心にくりかえすだけでもきつと大きな効果があるにちがいない。

人事異動

- ▽長崎県教育委員会教育長 長田 足穂
- ▽長崎県立女子短期大学学長 田中四三郎
- ▽長田教育長は長崎県人事課長から田中学長は長崎県教育長から、それぞれ栄転したものである。
- ▽群馬県教育委員会の体育課新設をはじめ、七県にわたつて学校保健体育主管課長の異動があつた。
- ▽群馬県教委体育課長 藤口 実一
- ▽福島県教委保健体育課長 鈴木 勝枝
- ▽三重県教委体育厚生課長(社会教育課長兼務) 田崎 正
- ▽愛媛県教委保健体育課長 野沢 浩
- ▽高知県教委健康教育課長事務取扱 細木 真一郎
- ▽鳥取県教委体育保健課長 小川 清
- ▽長崎県教委体育保健課長 国田 広次郎

第十五号目次

- ◇昭和三十一年度学校保健の展望
- ◇急増する学童のむし歯
- ◇人事異動
- ◇文部省の学校保健関係事業計画
- ◇関東甲信越学校保健大会
- ◇中学校の保健学習について
- ◇学童集団話聴力検査法の実施方法

- ◇全国学童の身長、体重等
- ◇第六回全国学校保健大会開要項

文部省の学校保健関係事業計画

文部省における本年度の学校保健事業計画は大要次のとおりである。

○学校保健事務連絡協議会

期日(五月) 場所(東京)
対象 都道府県教育委員会事務局
学校保健主管課長並びに関係職員

○教員保養所連絡協議会

期日(五月) 場所(愛知)
対象 教員保養所長 同職員

○学校保健講習会

期日(六月) 場所(東京)
対象 指導主事

○学校保健講習会

期日(六月) 場所(東京)
対象 校長(小・中・高等学校)

○学校保健講習会

期日(八月) 場所(東京)
対象 学校保健主事

○学校保健講習会

期日(八月) 場所(東京)
対象 保健担当教員

○学校保健講習会

期日(九月) 場所(東京)
対象 養護教員

○第六回全国学校保健大会

期日(十月) 場所(滋賀)
対象 学校保健関係者

○学校保健技術指導講習会

期日(十一月) 場所(東京)
対象 学校医・学校歯科医

○学校保健技術指導講習会

期日(十一月) 場所(東京)
対象 学校薬剤師

○運動医学講習会

期日(十一月) 場所(京都)

対象 学校体育・学校保健担当職員
その他に次の調査研究計画が予定されている。

○児童生徒の災害調査について

学校の管理下において発生した災害の実態調査を昭和三十一年度の一カ年間に互つて実施しようとするものである。

○高等学校の「保健科」のテストについて

小学校および中学校の健康教育についてのテストを実施してきたが、本年度は高等学校について実施しようとするものである。

○昭和三十一年度関東甲信越静学校保健大会は五月二十三日午前九時、秩父市産業会館に開東一円から約一〇〇〇名の学校保健関係者が参加して盛大に開催。多大の成果をあげて二十三日閉会した。

学校保健向上のための重要問題協議と研究発表とを主眼とした本大会は、開会式につづいて研究発表が行われ、正午まで経続されたが、研究発表者の熱心はいうまでもなく、聴衆も真剣な態度で終始し、会場の空気を学校保健重視のるつぽに誘導した。

秩父市に一〇〇〇名参集 関東甲信越静

学校保健大会を開催

保健組織部会・学校環境部会・疾病予防部会・健康教育部会・高等学校部の六分科会に別れ、いづれも熱心に討議研究をつづけ、第二日の分科会において報告すべき部会決定事項のとりまとめに各分科会議長は大重であつた。

特別講演は極めて有意義で深い感銘を与えた。講師はお茶の水大学教授波多野完治氏で「健康な子ども」と題する演題であつたが、最近やがましきいわれる安全教育・精神衛生を子供の生活に結びつけての講演で、我々が子供を見る場合の指針として、傾聴に値すべきものであつた。

なお本大会の前日開催された関東学校保健学会に出席された諸先生方が引き続き本大会に指導者として参加され、大会の空気に一層の輝きが増したといえよう。(S生記)

○中学校保健体育科の学習指導要領について

昨年度は高等学校の教育課程の改訂に伴つて「中学校・高等学校学習指導要領保健体育編(昭和二十六年版)」のうち、高等学校に関する部分を改訂し、さらに「保健」を加え、保健体育科として、高等学校学習指導要領保健体育科編を刊行した。

これは高等学校の保健体育科の指導実施の際の基準を示すものであつて昭和三十一年度の第一学年から学年を追つて実施されることになつたので、本年度は中学校の教育課程について研究が行われる。

これに関連して中学校の保健体育科の学習指導要領の改訂がみられる

呼吸器系の結核が最高

このほど文部省から五十日以上欠席(昭和二十九年一ケ年間)した児童生徒の調査が発表された。

この調査から小学校の病欠をみると呼吸器系の結核(男七・五六一女八・一四六)が最高となつている。

識者の関心を喚起したい。

全国教員保養所 連絡協議会開催さる

昭和三十一年度の全国教員保養所連絡協議会は、文部省・愛知県教育委員会共催で愛知県立教員保養所において五月二十四日・二十五日の両日、全国より三十二の都道府県の参加を得て開かれた。

文部省からは、保健課長塚田治作氏が出席し、各教員保養所の実情、意見の交換等があり、また愛知県立教員保養所、養護学校(結核)等の見学も行ひ有意義に終了した。

なお、名古屋大学岡田教授の結核教員複職基準についての特別講演もあつて、本協議会に一段と生彩を加えた。

また本大会の眼目の一つである分科協議会は学校保健行政部会・学校

学童の栄養補給には

カワ 肝油ドロップ

消化吸収よき完全乳化 特殊皮膜で効力安定

(学校用) 一粒中のビタミン含量
A 2.500 国際単位
D 250 国際単位

河合研究所 河合製薬株式会社

東京都中野区野方2丁目
電話 4746
東京都中野区野方2丁目
電話 (38) 443 445

中学校の保健学習について

昭和三十一年三月三〇日付文初保第一六〇号にて文部省初等中等教育局長から、都道府県教育委員会、都道府県知事、附属中学校をもつ国立大学長にあてて中学校の保健の学習について次のような通達がなされた。

中学校保健体育科のうち保健の学習の目標および内容

1 目標

中学校の保健学習においては、小學校の健康教育の基礎の上に立ち、家庭・近隣・学校・地域社会など、身近な社会の生活における自己や他人の健康・安全について基礎的に理解させ、健康生活の実践に必要な習慣・態度・能力・技能を養い、健康生活を自主的に実践させることを目指す。

さらに進んで、個人の健康と集団の健康との関係について理解させ、集団の健康生活の実現についての熱意と、保健問題を科学的に解決する意欲をもたせるようにする。

以上のようなことから、中学校の保健学習では、主として次のようなことを目標とする。

- 1 個人の健康成立の基礎的な諸条件ならびに健康についての科学的な考え方について理解し、これに基づいて身近な生活における保健問題を解決する態度・能力を養う。
- 2 自己の健康について理解し、これに基づいて適切な保健活動を行う習慣・態度・能力を養う。
- 3 病气やけがとその予防について理解し、病气やけがの予防や救急処

置に必要な保健活動を行う態度・能力・技能を養う。

4 健康と学習や仕事との関係について理解し、これに基づいて学習や仕事を健康的に行う能力・態度を養う。

5 健康な精神について理解し、これに基づいて生活を楽しく進める習慣・態度を養う。

6 集団の健康について理解し、進んでその健康を高めることに協力する態度を養う。

前に述べたように、中学校の保健教育の基礎の上に立つて行われるものである。その関連を明らかにすると、次のとおりである。

小學校の健康教育は、自己の健康について関心をもたせ、自己の健康生活を自主的に実践する能力を養うことに主眼をおき、このために必要な基礎的な理解・習慣・態度を養うことを目指している。

中学校の保健学習は、国民個人個人の必要とする保健活動を行う能力を養うことに主眼をおき、このために必要な理解を内容とする。したがって、個人の健康成立の基礎的な諸条件、健康についての科学的な考え方、健康のために必要な保健活動、病気の予防、安全な生活、個人の健康、安全と集団の健康、安全との関係などについての理解を必要とする。

このように中学校の保健学習は、小學校に比べて、個人の健康についてばかりでなく、他人や集団の健康生活の向上に協力する態度を養い、

個人の健康成立の基礎的な諸条件や健康についての科学的な考え方を理解し、これに基づいて保健活動を実践することにより、自己の現在および将来の保健問題を処理する能力を養うとともに、集団の健康を高めることについても強い意欲を持たせることが目標とされる。

2 内容

次に掲げる内容は、前述の保健学習の目標を達成するために適当と考えられるものであつて、そのすべての領域にわたつて学習をさせることが必要である。

(1) 中學校生徒の生活と健康

健康から見た生活

健康と過去・現在・将来の生活との関係、健康と学校生活・家庭生活・社会生活との関係、健康と心身・環境・行動との関係、健康のために自分ですること、他のひとにしてもらうこととの関係、健康と生活に必要な力を費すこと、つくることとの関係などを取り扱う。

イ 健康の重要性と健康についての科学的な考え方

健康の重要性の認識・生命と健康との関係、健康と仕事の能率・気分などとの関係を取り扱う。

ウ 健康と計画的な生活

健康的な生活設計の必要、一日の健康的な生活しかた、健康的な長期休暇の過ごし方などを取り扱う。

内容の説明

健康の重要性や、健康はどのようなにして守られているかについて理解させ、これからの自己の生活を健康的にする態度を養うためのものである。

(2) 中學校生徒の保健活動

ア 保健活動の意義と種類

保健活動の意義・種類などを取り扱う。

イ 学校生活における保健活動身体検査・健康相談・予防接種などに関連する保健活動を取り扱う。

ウ 家庭生活・社会生活における保健活動

自己の健康の自覚と反省、家族や友人の健康とその観察、家庭や地域社会における安全と美化、保健活動の記録とその活用などを取り扱う。

内容の説明

自己や他人の健康状態を理解させ、これに基づいて適切な保健活動を行う習慣・態度・能力を養うためのものである。

(3) 心身の発達

ア 中學校生徒の心身発達の特徴

中學校生徒の身体発育・精神発達行動の特性、身体発育と精神発達との関係などを取り扱う。

イ 心身の発達と生活の諸条件との関係

身体発育・精神発達・行動と生活の諸条件との関係などを取り扱う。

ウ 心身の発達の測定

心身の発達の測定の種類と方法、心身の発達の記録と活用などを取り扱う。

内容の説明


自己の心身の発達の状態を正しく理解させ、これに基づいて心身の健全な発達をはかろうとする態度と能力を養うためのものである。

(4) 安全な生活

つきのよい...

ニチバンの

絆創膏



ニチバン

VitaBaby


坊やはるアマツク

綜合ビタミン

ビタベビー

虚弱児・へん食する方・結核予防

100錠350円 300錠870円・団体用大瓶 第一製薬



ア 生活における安全の重要性
安全尊重の意義、文化の進展や環境の変化と安全、安全を守るための法規と施設、安全生活の進歩などを取り扱う。

イ 事故や災害とその予防
事故や災害の現状・種類・原因・防止・対策などを取り扱う。

ウ 日常生活の安全
学校生活の安全、交通安全、労働安全、災害事故の際の安全活動などを取り扱う。

エ けがや急性中毒と救急処置
けがや急性中毒の現状・種類・原因・防止・救急処置などを取り扱う。

内容の説明
自己および集団の安全な生活を図るため、生命をおびやかす、健康を害する災害や事故の原因について理解させ、その防止と対策ならびに救急処置に必要な態度・能力・技能を養うためのものである。

(5) 病気とその予防
ア 病気の原因
病気と病原体・衣食住・季節・地域・年齢・性・体質などとの関係などを取り扱う。

イ 急性伝染病とその予防
急性伝染病の病原体・感染経路・症状・経過・予防などを取り扱う

ウ 慢性伝染病とその予防
慢性伝染病の病原体・感染経路・症状・経過・予防などを取り扱う

エ 寄生虫病とその予防
寄生虫病の種類・感染経路・症状・経過・予防などを取り扱う。

オ 日常かかりやすい病気と、その予防と処置
歯・目・耳の病気、かぜや胃腸

障害・皮膚の病気などとその予防
その他身体検査において多く発見される病気とその予防などを取り扱う。

カ その他の病気とその予防
職業病・遺伝病・神経の病気・精神病・老人に多い病気などとその予防などを取り扱う。

キ 病気の予防と処置
病気の自覚と判断、早期診断と早期治療の重要性、急病とその応急手当、医療品の正しい利用、救急看護のしかたなどを取り扱う。

ク 病後の注意
病気の治癒と体力との関係、病後の生活特に慢性伝染病などの病後の生活のしかたなどを取り扱う。

内容の説明
おもな病気とその予防について理解させ、それに基づいておもな病気の予防や処置を適切にする習慣・態度能力を養うためのものである。

(6) 健康と学習や仕事
ア 学習や仕事と学習室・作業室の位置・机・いす・作業台・照明・採光・美化・整頓などとの関係を取り扱う。

イ 学習や仕事の能率と心身の状態
学習や仕事と運動・姿勢・栄養・気分などとの関係・学習や仕事の時間と休養との関係などを取り扱う。

ウ 学習や仕事の能率と生活の調和
生徒・家庭人・職業人の一日の生活の時間的組立て、学習や仕事の能率と生活の設計、余暇時間の利用を取り扱う。

内容の説明

学習や仕事を健康的にするしかたについて理解させ、これに基づいて、現在ならびに将来の生活を健康的に行う態度・能力を養うためのものである。

(7) 健康な身体や精神と生活
ア 身体全体の正常なはたらき
身体全体のはたらきと部分のはたらきとの関係、生命の維持と身体内部の変化との関係、環境の変化と身体内部の変化との関係などを取り扱う。

イ 健康な精神
精神の健康の意義、個人生活と社会生活とのかたつと、精神の健康と身体との健康との関係、神経症などの健康障害とその原因などを取り扱う。

ウ 精神の健康を守るための生活
自己や他人の理解、気分の転換、不満の発散、生活態度や習慣の変更などを取り扱う。

内容の説明
正常な心身の機能や状態について理解させ、これに基づいて、生活を楽しく進める習慣・態度を養うためのものである。

(8) 国民の健康
ア 国民の健康状態
国民の平均寿命、国民の主な病気と死因、国民の栄養と体格・体力などを取り扱う。

イ 健康な国民生活と社会的条件
健康な国民生活の建設、国民の健康を守るための公共の保健施設などを取り扱う。

内容の説明
国民保健について理解させ、地域の健康生活の向上に協力し、あ

わけて自己の保健問題を解決する態度と能力を養うためのものである。

3 留意事項
(1) 生徒の保健活動などの経験をもとにして、学習を進展させるように考慮する。

(2) 保健体育科の体育学習との関連はもちろん、理科・職業・家庭科および社会をはじめ、他の教科ならびにホームルームその他における健康指導・生活指導・学校保健行事などの関連を十分に考慮する。

(3) 特別教育活動との関連を密にして、自発的・積極的な学習が行われるようにする。

(4) 学校における健康管理との関係を考慮して、これを学習に取り入れるとともに、学習の効果があがるようにする。

(5) 家庭や地域社会の日常生活における保健問題の解決に資するようにする。

(6) 保健の学習によつて得られた救急処置などについて技能が、日常生活において活用できるように指導する。

(7) 学習指導に際しては、性別による保健上の区別を十分に注意して指導する。

(8) 学習指導に際しては、次のような実習・調査・見学などを加える必要がある。

ア 発育・疾病・病欠欠席などの衛生統計の実習

イ 発育および生理的機能測定の実習
ウ 環境衛生の調査
エ 救急処置の実習
オ 公共の保健施設の見学および調査

結核の発病防止に 陽転児童



服み易いパスタ

| | | | | |
|----|-----|----|------|-------|
| 包装 | 錠衣粉 | 錠末 | 200錠 | 1000錠 |
| | | | 100瓦 | 500瓦 |



三辺製薬

学童集団話音聴力

検査法の実施方法

東京慈恵会医科大学

教授 佐藤 重一
講師 熊谷 一郎

学童集団聴力検査の目的は、耳疾患による難聴児の外に所謂無自覚性難聴児の発見にある。この無自覚性難聴は殆ど伝音系難聴であるが学業修得上妨げとなる場合が多いと思われ。一般に集団聴力検査には語音聴力検査法を用いられるが、之に就いて簡単にその実施方法を述べてみたい。

方法としてはレコード又はテープに一定条件下に特定語音又は数字音を録音しておき、これを再生し児童に集団的に聴取せしめ（レシーバー又はスピークを用いる）て之を予め各自に配付した用紙に書取らせて、その聴取語に就きこの明瞭に聴えた語音数を算数して明瞭率を計り、個々の児童の聴力計測値とする。レコード式には現在 Western 型とリオン式とがある。これ等には二〇—一五〇個のレシーバーが附属し、両耳に異なる数字音レコードに依り左右各個に就き調査するものである。

このレコードは、音のボリュームを大なるものから順次に小さく（10—15 db step に）ボリュームを小さく（この成績を検するとき、どの程度の段階から聴取困難（不明瞭）となつたかが判明する。欠点は機械が大き

く高価格、かつレコード及びレシーバーの整備の難かしいことである。テープを用いる場合も同様に、テープに語音を録音し、これを再生して（この場合減衰器を介在せしめて段々再生音を減衰せしめるか、又は予め録音するときに漸次減衰させてテープをつくる場合もある）スピーカー或はレシーバーを以て聴取せしめる。テープにても一回に検査可能な児童数は二〇—三〇人位が理想的であり、児童の排列とスピーカーとの距離に留意する必要があるが一般にスピーカーの前に四五—九〇度の扇形に並ばせるのがよろしい。しかしボリュームが小さくなると試験室内外の騒音と前述距離とに関係が影響して来ることが大なるので、この場合聴力健全なる者（例えば検査者或は教師諸氏）が最後列にて児童と同様に筆記しその明瞭度をこの被検査室に於ける正常聴力基準とするのが宜しい。又更に再生音量を一定にして、（この音量は試験室の後列にて健全者が聴取出来る程度、即ち健全者レベル）明瞭度を各児童に就き計る。さらにこの場合学校既設の拡声装置を応用して全校生徒を一度に計測することも出来る。これらはスピーカ

を用い両耳検査となるが片耳検査の目的にプラスチック製又はゴム栓を以て片耳を閉塞して行う方法もある。音量が充分大なる場合（75db 程度）にては、音響は密閉せられる四周の壁に反射して反射音が大となるので、教室内の児童の並び方を考慮する必要は無い。

以上の各法を用うる場合も録音言語表が問題となる。一般に有意音、数字音、無意単音、無意二連音の順に明瞭度は低下する。又単音に就ては清音、濁音、拗音の順に低下し又フォルマントに關係する。この場合有意音は純粋なる聴力のみを検査とならず、了解度が混在して来るので数字音及び無意音表を用うるのが普通である。明瞭度は前述の様に語音表と密接な關係があるので、目的に応じてこの語音表を撰択する。即ち教室内聴取には清、濁、拗音を含む音表、拡声装置応用の場合は清音及び数字音よりなるものを撰ぶ。拡声機応用して各教室のスピーカーに流す場合、明瞭度善きものは問題はないが悪きものは更に教室内における検査（閾値上及閾値検査）を行い難聴有無の判定をすることが必要となる。

次に智能との問題であるが、前述諸試験は小学四年生以上には適当であるが、それより低学年生には無理であつて、有意語及び数字表及び疑問文章に返答（Yes No）を書かせる方法で満足しなければならぬ。更に幼児には種々の擬音を聞かせ、その返答に依る方法がとられる。次に実際に検査を行う注意を述べ、試験室はなるべく静寂な教室を撰び、外界の雑音を去らしむ為密閉し、語音を吹込んだテープ（これは厳密に録音した大学のテープのプリントをわけて貰うのが便利である）を使用する。スピーカーはテープコーダーから離れた位置に置ける様、セットしたもの望ましいが、なければ、テープコーダーから聴かせる又コーダーの音量調節器を予め下記の如くして位置を一定しておく。テープに一〇〇〇振動音を語音表の最初に吹込んであるからこの音量をオーディオメーターから音と片耳ずつ聴きて平均をとり再生音の大きさを録音時の大きさと一致せしめる。そして再生時には常にこの位置に調節器の目盛を合せる様にする。しかして前述の如く学童に書取らせて之の成績を検する、成績表（Western レコード式数字音片耳試験）を示すと第三表の如くなり表の如く判定する。又これをカーブ（明瞭度曲線）に取ると第一図の様な曲線を示し健者との相違がわかる。同一のボリュームで全語音表を録音した場合はどのステツプから不明瞭度が多くなつたかは示されないが、この場合全語音に対する難聴者の場合には明瞭度の低下が判然するが、この学童を更にステツプ毎の試験又は純音検査を行い、その程度をきめるのが望ましい。拡声機を用うる場合も同様である。

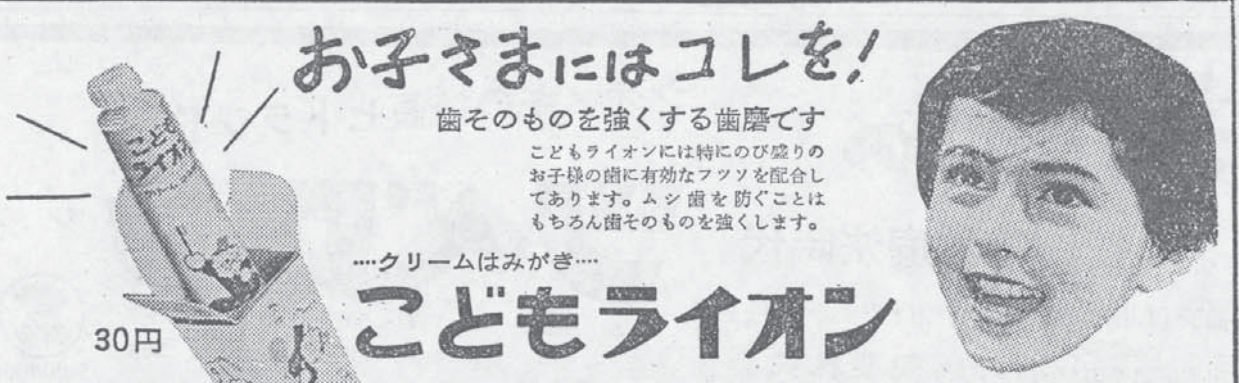
お子さまにはコレを!

歯そのものを強くする歯磨です

こどもライオンには特にのび盛りのお子様の歯に有効なフッ素を配合してあります。ムシ歯を防ぐことはもちろん歯そのものを強くします。

…クリームはみがき…

こどもライオン



30円

T116

第二表 第二語音表

学童集団検査用(清音のみにて構成)

| Step | I | II | III | IV | V | |
|------|-----|----|-----|----|----|----|
| 1 | カマ | アク | ヤモ | ホシ | クノ | 1 |
| | ヨカリ | ヨ | オヤ | モホ | マビ | 2 |
| 2 | モフ | コア | シヨ | ハヤ | ノオ | 3 |
| | モア | ヒヤ | ノハ | コカ | オリ | 4 |
| 3 | フコ | リマ | クヨ | カノ | ホク | 5 |
| | アオ | ヤク | ヨモ | ハキ | マホ | 6 |
| 4 | クノ | マビ | ノオ | オリ | ホク | 7 |
| | カノ | クヨ | リマ | フコ | モア | 8 |
| 5 | ヒヤ | ノハ | コカ | ハヤ | モホ | 9 |
| | ホシ | ヤモ | アク | カマ | ヨカ | 10 |
| 6 | モフ | コア | シヨ | オヤ | リヨ | 11 |
| | マホ | ハキ | ヨモ | ヤク | アオ | 12 |

第一表

第一語音表(慈大菅谷)

| | I | II | III | IV | V |
|----|---|----|------|-----|------|
| 1 | あ | にょ | びゃふ | りよぞ | うせ |
| 2 | に | だ | か | ポ | ぐ |
| 3 | む | え | びよぬ | きゅば | ね |
| 4 | き | びよ | は | そ | きよじゅ |
| 5 | ぺ | びゃ | ら | げ | ひゃく |
| 6 | い | び | れ | ひよ | つ |
| 7 | な | ぎ | びゆみゆ | おぶ | こ |
| 8 | に | ゆ | ど | り | ひ |
| 9 | た | と | ち | ゃ | こ |
| 10 | に | ゃ | し | ゆ | ろ |

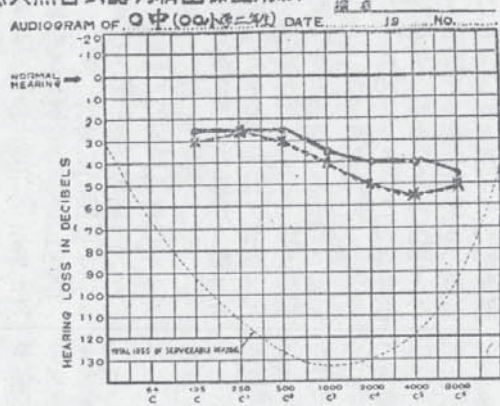
ある。尙第一図は明瞭度曲線と純音オチオグラムとの同一児童の成績と健者曲線とを対照したものである。尙この児童は幼児期にストマイ三十本注射を受け現在渗出性中耳カタルがあり、扁桃腺、アデノイドの手術を行なう回数鼓膜穿孔、ポリツェル氏通気法鼓膜マツサージを行なう著しき聴力の好転を認めた。尙話音検査法には京府大中村教授、小西講師の綜説

が日本医事新報(三〇年一月二六日号)に執筆されているが、要領よく纏められているので御参照を乞う

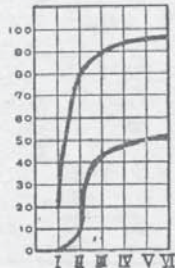
第一表 第一語音表(慈大菅谷)
第二表 第二語音表(学童集団検査用)
第三表 レコード式聴検成績表
第一図 集団検査(テープ式)明瞭度曲線と純音聴力像との対照図

第一図

慈大熊谷式聴力精密検査用紙



Speech Audiogram



第三表 ウェスタンエレクトリック No. 4

| 右 耳 | | | | 聴 力 段 階 | 左 耳 | | | |
|-----|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 56 | 88 | 35 | 62 | 30 | 56 | 26 | 91 | 18 |
| 33 | 28 | 85 | 63 | 27 | 82 | 21 | 33 | 19 |
| 23 | 52 | 38 | 33 | 24 | 33 | 83 | 29 | 39 |
| 85 | 33 | 63 | 56 | 21 | 32 | 58 | 58 | 33 |
| 38 | 56 | 52 | 35 | 18 | 58 | 52 | 35 | 52 |
| 63 | 35 | 62 | 85 | 15 | 52 | 38 | 42 | 38 |
| 28° | 63° | 88° | 28° | 12 | 31 | 31 | 33 | 42 |
| 62° | 38° | 26° | 53° | 9 | 58° | 32° | 52° | 56° |
| 83 | 66 | 28 | 52 | 6 | 52° | 82° | 63° | 83° |
| 38 | 85 | 56 | 52 | 3 | 48 | 23 | 74 | 72 |
| 52 | 62 | 33 | 38 | 0 | 35 | 32 | 84 | 33 |
| 85 | 25 | 52 | 13 | 3 | 52 | 58 | 91 | 35 |

右判定(正) 左判定(△) 総合判定()

結核の

長期化学療法時代

☆小冊子「結核新薬正しい使い方・療養の心得」送呈

大阪市東区道修町 塩野義製薬株式会社

シオノギの純良ヒドラジド

ツベロソ

(包装) 50mg錠: 50錠 100錠 1000錠
50mg注: 10管 末: 10g 25g



昭和三〇年度学校衛生統計（指定統計第十五号）の全国集計の結果が三月二〇日発表された。これによると三〇年四月現在の学徒の年令別身長・体重・胸圍・座高は下表のとおりである。

全国学徒の身長・体重・胸圍・座高

生徒、児童、幼児の発育は昭和二十三年頃から急速に上昇しつつあることは現在までの統計によく表われているところであるが昭和三十年年度の発育についても身長は前年度に較べて増加している。ことに発育期の急増期にある中学校の生徒は、その増加は著しく六ミリ一センチの増加となっている。

体重も身長ほど目立つてはいないが、やはり十二才と十六才においては前年度に較べ増加している。即ち前年度の十二・十三・十四才の男子がそれぞれ三二・八キログラム、三六・九キログラム、四一・九キログラムに對し三〇年度は三三・二キログラム、三七・六キログラム、四二・七キログラムとなつており、発育盛りの十四才では〇・八キロ

グラムの差がついている。胸圍は六才から十一才の小学校児童の年令において殆ど増加していないが、中学校、高等学校の生徒の年令十二才から十七才において幾分増加しているのがみられる。

なお調査した学校数は、全国から高等学校、中学校、小学校、幼稚園それぞれ約1/4、1/8、1/2の学校数を調査したものである。

| 区分 | 年令 | 身長 | | 体重 | | 胸圍 | | 座高 | | |
|------|----|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 幼稚園 | 3 | 96.3 | 95.0 | 15.0 | 14.4 | 52.6 | 51.2 | 55.8 | 55.2 | |
| | 4 | 101.3 | 100.3 | 16.2 | 15.7 | 53.8 | 52.5 | 58.4 | 57.7 | |
| | 5 | 106.0 | 104.9 | 17.4 | 16.9 | 55.1 | 53.5 | 60.6 | 60.1 | |
| 小学校 | 6 | 110.3 | 109.3 | 18.7 | 18.1 | 56.2 | 54.6 | 62.8 | 62.3 | |
| | 7 | 115.6 | 114.6 | 20.6 | 20.0 | 58.2 | 56.4 | 65.2 | 64.8 | |
| | 8 | 120.3 | 119.4 | 22.7 | 22.1 | 60.1 | 58.2 | 67.4 | 67.1 | |
| | 9 | 125.1 | 124.5 | 25.0 | 24.5 | 61.8 | 60.2 | 69.5 | 69.4 | |
| | 10 | 129.6 | 129.5 | 27.3 | 27.1 | 63.9 | 62.5 | 71.4 | 71.6 | |
| 中学校 | 11 | 133.9 | 134.9 | 29.7 | 30.5 | 65.8 | 65.2 | 73.2 | 74.1 | |
| | 12 | 139.2 | 141.0 | 33.2 | 34.9 | 68.2 | 68.9 | 75.7 | 77.4 | |
| | 13 | 145.3 | 145.7 | 37.6 | 39.4 | 71.3 | 72.5 | 78.7 | 80.0 | |
| 高等学校 | 14 | 151.7 | 148.9 | 42.7 | 43.2 | 75.0 | 75.6 | 82.0 | 82.0 | |
| | 計 | 15 | 158.5 | 151.7 | 48.8 | 46.8 | 78.8 | 77.9 | 86.0 | 83.7 |
| | | 16 | 161.6 | 152.6 | 52.2 | 48.7 | 81.3 | 79.6 | 87.9 | 84.2 |
| | | 17 | 163.4 | 153.2 | 54.5 | 49.8 | 83.0 | 80.5 | 89.0 | 84.3 |
| | | 18 | 163.0 | 152.8 | 55.1 | 50.3 | 83.7 | 81.2 | 88.8 | 84.2 |
| | | 19 | 163.0 | 152.5 | 55.4 | 50.2 | 83.8 | 81.4 | 88.8 | 84.2 |
| | 普通 | 15 | 159.0 | 151.8 | 49.0 | 46.8 | 78.9 | 77.8 | 86.2 | 83.8 |
| | | 16 | 162.0 | 152.7 | 52.5 | 48.7 | 81.4 | 79.5 | 88.1 | 84.3 |
| | | 17 | 168.8 | 153.6 | 54.7 | 49.8 | 83.2 | 80.3 | 89.3 | 84.5 |
| | | 18 | 164.0 | 153.1 | 55.2 | 50.1 | 83.8 | 80.7 | 89.4 | 84.4 |
| 19 | | 164.3 | 152.7 | 55.5 | 49.7 | 84.0 | 81.1 | 89.4 | 84.0 | |
| 定時制 | 15 | 156.9 | 150.3 | 48.1 | 46.4 | 78.5 | 78.3 | 84.9 | 82.8 | |
| | 16 | 159.8 | 151.4 | 51.4 | 48.4 | 80.8 | 79.9 | 86.8 | 83.5 | |
| | 17 | 160.4 | 152.1 | 53.7 | 50.0 | 82.5 | 81.0 | 88.0 | 84.0 | |
| | 18 | 162.6 | 152.4 | 55.1 | 50.4 | 83.5 | 81.6 | 88.6 | 84.0 | |
| | 19 | 162.8 | 152.5 | 55.4 | 50.3 | 83.8 | 81.5 | 88.7 | 84.2 | |

食器・野菜洗いに

ライポン F103

ライオン油脂株式会社
東京都江戸川区平井3の2397 電話(68)1131-5

元気は育て...
1日1錠、栄養たっぷり



ミネラル配合総合ビタミン剤



ミネロール

30錠 100錠 三共株式会社

十月十三日から三日間

第六回全国学校保健大会

滋賀県(大津市)で開催

学校における保健の全分野にわたつて、重要な問題について研究協議研究発表並びに特別講演により、学校保健の普及徹底と向上を図る目的で文部省・滋賀県教育委員会・大津市教育委員会・瀬田町教育委員会・滋賀県学校保健会・滋賀県学校給食協会・財団法人日本学校保健会主催の第六回全国学校保健大会は十月十三日・十四日・十五日の三日間、滋賀県大津市・瀬田町で開催される。

主な行事は次の通り

- (1) 表彰 学校保健関係者を表彰
- (2) 全体協議
- (3) 特別講演

京都大学教育学部長 下程勇吉教授

(4) 職域別協議会

- (イ) 学校医 (ロ) 学校歯科医
- (ハ) 学校薬剤師 (ニ) 学校長・PTA
- (ホ) 保健主事 (ヘ) 養護教員 (ト) 学校給食関係職員
- (チ) 教科担当教員の八職域

(5) 分科研究協議会

- (イ) 学校保健行政部会 (ロ) 学校保健組織部会 (ハ) 健康教育部会
- (ニ) 学校保健事業部会 (ホ) 学校環境衛生部会 (ヘ) 学校給食部会
- (ト) 特別部会 (幼稚園部会・大学部会・PTA部会・特殊教育部会)の七部会。

(6) その他

(イ) 大会役員ならびに都道府県の代表者等によつて大会全体の運営方法について打合せ。

(ロ) 分科協議会の運営方法について打合わせる。

(ハ) 日本学校保健会評議員会開催

日程

- 十月十二日(金)
 - 午前 大会全体運営委員会
 - 午後 分科会運営委員会
- 日本学校保健会評議員会
- 第一日(十月十三日)
 - 午前九時 開会式、式辞、祝辞、表彰、全体協議、議長選出、前大会報告、協議。
 - 午後一時 特別講演、職域別協議会
 - 第二日(十月十四日)
 - 午前八時半 分科総会、研究発表ならびに研究協議(班別)
 - 午後一時 研究協議(班別) 分科総会、全体協議会、閉会式
 - 第三日(十月十五日)
 - 学校視察

○第二十回全国学校歯科医大会

全国学校歯科医大会は回を重ねること十九回、学校保健の普及徹底と向上に大きな役割を果してきています。第二十回大会を北海道で次の要項で開催、学校歯科に関する研究協議を行う。

主催 日本学校歯科医会・北海道学校歯科医会・北海道教育委員会

後援 文部省・日本歯科医師会・北海道歯科医師会・北海道札幌市教育委員会・札幌市・日本学校保健会

期日 八月五日・六日

会場 札幌市民会館

日程

- 第一日(八月五日)
 - 午前九時半 開会式、研究発表
 - 午後一時 研究発表、協議会
 - 第二日(八月六日)
 - 午前九時より市内視察
 - 午後一時より市長パレード

研究発表

- 1 う歯半減運動に対する研究及び実践活動について
 - 2 その他について
- 協議議題
- う歯半減運動を展開するための隘路となる事項について協議

新決定版! (三〇年版を全面的に改編!!)

文部省保健課監修 一巻頁式 1千餘頁 送料共

日本学校保健会編集 全給加 ¥1,000 (送料)

逐条 学校保健法規集

始めて誕生—法規は探し難い、条文の意味が判らぬ—現場の声に答え、広く必要な法令を収め、条文見出し、参照条文、解釈例規を注釈—実務と学習に便利な注解法規集。

お申込みは本会へ

東京・港区芝罘平町三一
発行 第一法規出版株式会社

○学校保健講習会を開催

六月下旬東京で

文部省と本会共催で、指導主事に対し学校教育における保健問題について研究の機会を設け、児童生徒の健康安全に関する指導上重要な問題について研究し、もつて学校保健の向上を図るため大要左の要領で講習会を開催する。

日時 三十一年六月十九日、二十日の二日間

場所 東京都港区立三田高等学校内わかば会

対象 小・中・高等学校担当指導主事、約一〇〇名

講義題目および講師

- (1) 初等教育における問題について 文部省初等中等教育局
- (2) 中等教育における問題について 文部省初等中等教育局
- (3) 中等教育課長 杉江 清
- (4) 学校保健の諸問題について 文部省初等中等教育局
- (5) 学校保健課長 塚田 治作
- (6) 学校における精神健康の問題について 東京家政大学長 青木誠四郎
- (7) 児童生徒の健康安全に対する教員の責務について お茶の水女子大学教授 武田一郎
- (8) 学習能率と学習疲労の問題について 労働科学研究所副所長 勝木 新次

寄稿のお願い

都道府県における学校保健関係の行事、人事異動その他学校保健についての随想などを御寄稿下されば幸甚です。

☆ 新発売 ☆

駆虫率の高い

カイニン酸とサントニンの複合駆虫剤

ジゲサン

本剤は海人草の結晶有効成分「カイニン酸」と「サントニン」とを、最も駆虫率の高い割合に混合した複合剤で各単独投与に比べ、はるかに効果的な事が認められている。又海人草の臭味がなく、サントニン単独服用時にみられる黄褐は殆んど起らない。

| 種類 | 成分 | カイニン酸 | サントニン |
|----------|----|-------|-------|
| 錠剤 (1錠中) | | 5mg | 25mg |
| 末 (1瓦中) | | 20mg | 100mg |

【包装】錠剤 100錠・末 10瓦

大阪市東区道徳町 武田薬品工業株式会社 東京・札幌・福岡 (ジゲ6)